

1. <施策の概要>

基本理念	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部 学校教育課
基本方針	学校教育		
施策名	教育振興	関連課	精北小学校、川西小学校 山田荘小学校、東光小学校 精華台小学校、精華中学校 精華南中学校、精華西中学校
方針・目標等	◆子どもたちに魅力ある学校教育の推進 ◆地域と一体的な子どもたちを守り育てる教育 ◆豊かな人間性の育成		
実施内容	◆学研都市の資源を活かした創意ある教育活動 ◆学力の充実・向上と個性の伸長を図る教育 ◆豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育 ◆開かれた学校づくり		

2. <指標の設定>

	重点	指標名	単位	他団体比較 団体名／実績／年度		算式・引用等	
①	○	学校図書蔵書達成率	%	府内100%達成割合 27.1【参考】23		学校教育課調べ	
②	○	学研立地機関等出前授業件数	件			学校教育課調べ	
③		学力テスト平均点(中学生)	点	府内平均 65.623		国、数、英の平均点	
④		学力テスト平均点(小学生)	点	府内平均 77.123		国、算の平均点	
⑤		児童・生徒問題事象発生件数	件	山城地域平均 56.123		児童・生徒千人あたりの問題事象発生件数	
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標	-	-	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	-	-	64.2	68.1		
②	目標	-	-	-	20	20	20
	実績	-	2	14	15		
③	目標	74.6	74.6	74.6	74.6	77.7	77.7
	実績	69.8	73.9	69.9	77.7		
④	目標	80.0	80.0	80.2	80.6	80.6	80.6
	実績	76.4	80.2	80.6	80.4		
⑤	目標	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	45.3	61.1	29.0	24.7		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・学力診断テストを分析すると、小学校では平成21年度から安定した結果が出てきており、近年平均が80点を超えるという高い値を示している。中学校では隔年で上がり下がりが生じている。平成24年度には、近年で最も高い正答率となった。また、正答率が50%未満の割合は、小学校で約7%、中学校で約9%となっており、いずれも府の目標をクリアしているが、小・中とも算数、数学でその傾向が高く学力の充実を図る必要がある。・問題事象の発生率は平成22年度をピークに減少傾向にあり、中学校で特に顕著な結果となっている。一方、小学校では若干増加傾向にあり、さらなる生徒指導の充実が望まれる。・学校図書館の整備については、蔵書達成率のさらなる向上と質の高い図書館機能の充実を目指す。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・特に算数、数学における少人数教育のさらなる充実や、安定した結果を出している小学校でのきめ細かい授業実践に取り組み、教師の授業力を向上させ一層の学力の充実を図る。・中学校では問題事象の減少が見られることから、小学校においても中学校の生徒指導のノウハウを学ぶなど小中連携を一層充実させる。・特別支援教育の充実のため、支援員・介助員の適正配置に努める必要がある。・学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、協働していくためのシステムを充実させる。・体力テストでは、小学校が全国平均を若干下回る状況にあり、体育授業の充実のほか、運動に対する意欲を喚起し、運動機会を増やす取り組みを充実させる。

4-1. ＜施策を構成する事業＞

重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 ＜単位：千円＞					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	学校教育課	-	-	-	27,567	29,098	29,098
	学級支援員配置事業	-	-	-	26,469	28,000	28,000
	一般事業 221	-	-	-	169	0	0
2	学校教育課	-	-	-	2,934	2,934	2,934
	子どもの食のあり方検討事業 (学校給食実施検討事業)	-	-	-	100	100	100
	一般事業 221	-	-	-	100	100	100
3	学校教育課	23,240	28,533	37,488	25,834	27,575	28,095
	小学校教育振興関係経費(小学校5校分含む)	21,786	24,871	34,068	23,399	25,141	25,145
	一般事業 223	20,295	24,871	34,068	23,399	25,141	25,145
4	学校教育課	1,892	2,684	1,724	1,699	1,589	1,589
	特色ある学校づくり支援事業 (小学校分)	1,250	1,177	923	967	857	857
	一般事業 225	830	757	770	779	675	675
5	学校教育課	0	2,107	1,700	1,544	1,353	1,553
	「もうすぐ1年生」体験入学推進事業	0	600	899	891	700	900
	一般事業 227	0	300	450	446	350	450
6	学校教育課	26,413	25,495	29,657	31,114	32,840	32,840
	中学校教育振興関係経費(小学校5校分含む)	25,070	21,993	26,415	27,076	28,802	28,802
	一般事業 233	23,521	21,993	26,415	27,076	28,802	28,802
7	学校教育課	1,365	2,265	2,028	1,763	1,807	1,838
	特色ある学校づくり支援事業 (中学校分)	804	758	681	557	601	632
	一般事業 235	496	450	565	493	405	405
8	学校教育課	4,951	3,427	3,253	3,660	3,913	3,794
	教育委員会運営費	1,163	963	1,105	1,091	1,344	1,225
	一般事業 217	1,163	963	1,105	1,091	1,344	1,225
9	学校教育課	66,099	69,304	69,812	62,019	70,936	70,936
	私立幼稚園関係助成、幼稚園 就園奨励事業	63,472	65,734	65,203	57,657	66,594	66,594
	一般事業 237	53,994	56,269	55,611	49,381	57,928	57,928
10	学校教育課	80,081	88,610	102,774	90,310	90,305	91,974
	緊急雇用対策事業(学校図書館 司書配置事業分)等13事業	75,931	78,292	87,797	72,474	75,606	77,275
	-	73,663	75,960	85,024	60,339	71,762	72,212

4-2. ＜施策を構成する事業の成果と課題＞

・学力向上総合推進委員会における学力診断テストの結果分析や授業改善例の提示により、個に応じた指導を展開したことで、学力診断テストの平均点は概ね上昇傾向にある。今後、さらに質の高い学力の定着・豊かな心の育成のために、異校種間連携(「もうすぐ1年生」体験入学推進事業の拡充等)や研修の充実を図り、一層の教員の授業力向上を目指す。・家庭・地域との協働(コミュニティスクール等)やノーマライゼーションの進展(支援員・介助員の配置等)に努めた成果として、問題事象の減少が挙げられる。今後も、このような取り組みを継続していく必要がある。・健やかな体の育成のために、中学校での部活動の推進や小中学校における体育科授業の充実、特に小学校におけるスポーツイベント等への参加奨励を図っていくことが肝要である。

5. ＜施策の今後の方向性＞

・「質の高い学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育成していくためには、一人ひとりに対してきめ細やかな指導や支援を行うことが大切であり、そのためには異校種間の連携を充実発展させる取組の強化とともに、個に応じてきめ細やかな指導や支援を行うことのできる体制を充実させる。・新規事業として、いじめ対策事業を立ち上げ、小学校へのスクールカウンセラーを配置しており、さらに充実させることで、いじめの早期発見・早期対応に努めていく。・学校・家庭・地域が協働して子どもを育てるために、物的・人的環境を整備するための支援を継続的に進める。・食育のさらなる推進に向けた取り組みと、中学校給食の実施に向け、基本的事項に沿った具体化に向け、さらなる検討を進め、実施時期等の明確な道筋をたてていく。